

事業群評価調書（令和7年度実施）

基 本 戦 略 名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	土木部 道路建設課	平 博敏
施 策 名	1 人流・物流を支える交通ネットワークの確立	事 業 群 関 係 課 (室)	地域づくり推進課	
事 業 群 名	② 高規格幹線道路・地域高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	6,685,117

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)					
観光の振興、企業立地の促進や物流の効率化には、地域間の時間短縮、定時性の確保やミッシングリンク※の解消が課題です。このため、地域の交流促進や連携強化に資する高規格幹線道路や地域高規格道路など、規格の高い道路の重点的な整備を推進します。 ※ミッシングリンク：高規格幹線道路等のうち未整備区間で途中で途切れている区間のこと						i) 西九州自動車道（松浦佐々道路及び佐々IC～佐世保大塔IC間4車線化、武雄南IC～波佐見有田IC間4車線化）の整備促進、西九州自動車道（佐世保大塔IC～波佐見有田IC間4車線化）の早期着手、東彼杵道路の早期事業化 ii) 島原道路の整備推進 iii) 西彼杵道路の整備推進 iv) 長崎南北幹線道路の整備推進 v) 島原天草長島連絡道路※の実現に向けた取組 ※島原天草長島連絡道路：長崎県島原半島～熊本県天草と熊本県天草～鹿児島県長島を2つの長大橋で結び、九州西岸地域を一体化する構想					
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	高規格幹線道路・地域高規格道路の供用率	目標値①		59.2%	60.6%	62.1%	63.6%	64.2%	64.2% (R7)	西九州自動車道については、松浦佐々道路の整備が国において進められている。また、佐々IC～佐世保大塔IC間及び武雄南IC～波佐見有田IC間の4車線化工事が西日本高速道路株式会社において進められ、このうち、佐々IC～佐世保中央IC間が令和7年3月に完成した。 東彼杵道路については、事業化に向けて環境影響評価の手続きを進めている。 島原道路については、国と県で4工区の整備を推進している。 西彼杵道路については、大串白似田バイパスの整備推進と、長崎市長浦町～時津町日並郷間の環境影響評価の手続きを進めている。 長崎南北幹線道路については、茂里町～滑石工区の整備を推進している。 今後も整備中区間の整備推進に必要な予算確保に努めていく。	
		実績値②	58.0% (R2)	58.0%	60.6%	62.1%	62.1%		進捗状況		
		達成率②/①		97%	100%	100%	97%		やや遅れ		

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 （令和7年度新規・補正事業は事業内容）	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等
				R5実績	うち一般財源	人件費（参考）		主な指標	R5目標	R5実績	達成率	
				R6実績					R6目標	R6実績		
				R7計画					R7目標			
				事業実施の根拠法令等				事業対象				
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業			他の評価対象事業（公共、研究等）			
所管課(室)名												
取組項目1	○	1	企画調査費	64,363	64,363	6,127	●事業内容 国等への要望活動を行う際の資料として、現状の問題点や課題を整理したうえで、ストック効果（整備効果）などを整理した資料作成を行う。 ●実施状況 国等への要望活動を計6回実施した。	【活動指標】 （国等への）要望活動回数（回）	5	6	120%	●事業の成果 ・要望活動の結果、高規格幹線道路・地域高規格道路の整備に関する予算として、令和6年度補正予算では約94億円、令和7年度当初予算では約168億円を確保することができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・予算が確保できたことにより、高規格幹線道路・地域高規格道路の整備促進に寄与した。
				35,126	35,126	6,308			5	6	120%	
				79,942	79,942	6,303			5			
				—								
			—	—			新規事業化箇所数（箇所）	0	0	—		
			道路建設課	—	—	—		0				

取組項目 ii	○	2	島原道路の整備促進 (公共)	6,638,210	257,380	—	●事業内容 南島原市から諫早インター間を結ぶ延長約50kmの高規格道路の整備を行い、諫早市中心部から島原半島の移動時間短縮を図る。 ●実施状況 (国)251号(出平有明バイパス) 用地取得、改良工、橋梁上部工を推進した。 (国)251号(有明瑞穂バイパス) 調査、測量、設計、橋梁下部工を推進した。 (国)251号(瑞穂吾妻バイパス) 調査、設計、用地取得、改良工を推進した。	【活動指標】	3	3	100%	●事業の成果 ・県で実施している3工区は、調査設計、用地取得、道路改良工事を推進した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・島原道路の事業進捗を図り、地域高規格道路の整備促進に寄与した。	
				5,467,350	129,991	—			3	3	100%		
				8,845,346	130	—		事業箇所数(箇所)	3				
				H20-	—				【成果指標】	50	50		100%
			道路建設課	—	—	○	道路利用者	島原道路の供用率(%)	50				
取組項目 iii	○	3	西彼杵道路の整備促進 (公共)	180,640	13,200	—	●事業内容 長崎市と佐世保市を結ぶ延長約46kmの高規格道路の整備を行い、長崎市から佐世保市間の移動時間短縮を図る。 ●実施状況 (国)206号(大串白似田バイパス) 調査、設計、用地取得を推進した。	【活動指標】	1	1	100%	●事業の成果 ・大串白似田バイパスは、調査設計、用地取得を推進した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・西彼杵道路の事業進捗を図り、地域高規格道路の整備促進に寄与した。	
				463,520	9,974	—			1	1	100%		
				1,319,700	96	—		事業箇所数(箇所)	1				
				H25-	—				【成果指標】	38	38		100%
			道路建設課	—	—	○	道路利用者	西彼杵道路の供用率(%)	38				
取組項目 iv	○	4	長崎南北幹線道路の整備促進(公共)	768,080	25,634	—	●事業内容 長崎市と時津町を結ぶ延長約15kmの高規格道路の整備を行う。高速道路及び西彼杵道路を含めた高規格道路ネットワークを形成し、主要都市間の移動時間短縮を図る。 ●実施状況 (都)長崎時津縦貫線(茂里町～滑石工区) 調査、設計を推進した。	【活動指標】	1	1	100%	●事業の成果 ・茂里町～滑石工区は、調査設計を推進した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎南北幹線道路の事業進捗を図り、地域高規格道路の整備促進に寄与した。	
				717,821	24,185	—			1	1	100%		
				1,596,400	45	—		事業箇所数(箇所)	1				
				—	—				【成果指標】	47	47		100%
			道路建設課	—	—	○	道路利用者	長崎南北幹線道路の供用率(%)	47				
取組項目 v	○	5	島原・天草・長島架橋構想等推進費	1,435	1,435	1,531	●事業内容 島原・天草・長島架橋構想を推進するため、国への要望や地元の機運を醸成する活動を行う。 ●実施状況 島原・天草・長島架橋建設促進協議会を通じて、国に対し要望活動を実施し、構想実現の社会的意義と地元の熱意を強く訴えた。また、地元機運の醸成を図るため、三県(長崎、熊本、鹿児島)の地域間交流連携事業などを実施した。	【活動指標】	2	2	100%	●事業の成果 ・国への要望活動や構想推進地方大会等の開催、啓発用リーフレットのリニューアルなどを行った。 ・国による調査の再開には至らなかったが、今後も引き続き国に対し構想実現の意義を訴えていく。 ●事業群の目標達成への寄与 ・国への要望活動や地元機運の醸成を図る地域間交流連携事業を実施することで、目標達成に寄与した。	
				1,300	1,300	1,577			(国等への)要望活動回数(回)	2	2		100%
				1,445	1,445	1,576				2			
				S63-	—			【成果指標】	数値目標なし	—	—		
			地域づくり推進課	—	—	—	島原・天草・長島架橋建設促進協議会	島原天草長島連絡道路の実現に向けた調査の再開	数値目標なし				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 西九州自動車道（松浦佐々道路及び佐々IC～佐世保大塔IC間4車線化）の整備促進、西九州自動車道（佐世保大塔IC～武雄南IC間4車線化）の早期着手、東彼杵道路の早期事業化</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシングリンクの解消に向けて、国において松浦佐々道路の整備が進められており、このうち、松浦 I C～平戸 I C間の開通が令和 7 年度中に予定されている。 ・NEXCO西日本において佐々IC～佐世保大塔IC間、武雄南IC～波佐見有田IC間の4車線化工事が進められており、このうち、佐々IC～佐世保中央IC間については、令和 7 年 3 月に完成供用している。また、波佐見有田IC～佐世保大塔IC間の4車線化については未着手である。 ・東彼杵道路については、国と県が連携して事業化に向けた環境影響評価の手続きを進めている。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松浦佐々道路の整備促進に向け、県としても西九州道推進室を立ち上げ、国の事業を支援している。道路整備の必要性を示したストック効果などの資料を作成し、松浦佐々道路の整備促進を引き続き国等へ要望していく。 ・4車線化工事については、佐世保中央IC～佐世保大塔IC間、武雄南IC～波佐見有田IC間の整備促進、波佐見有田IC～佐世保大塔IC間の早期着手を引き続き国等へ要望していく。 ・東彼杵道路については、環境影響評価の手続きを円滑に進めるとともに、早期事業化に向け引き続き国等へ要望していく。
<p>ii 島原道路の整備推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国において森山拡幅の整備が進められており、このうち、森山東IC～森山西IC間については、令和 5 年 1 1 月に完成供用している。 ・小野町～長野町間については、計画の具体化に向けて国と県で連携して進めている。 ・県において出平有明バイパス、有明瑞穂バイパス、瑞穂吾妻バイパスの整備を進めており、令和 6 年度は必要な予算を確保し、調査設計、用地取得、道路改良工事を推進した。 ・島原道路の供用率は令和 6 年度末時点で50%であり、残る25kmのミッシングリンクの解消が課題である。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が事業を進めている森山拡幅については、残る森山西IC～尾崎IC(仮称)の早期完成を引き続き要望する。 ・小野町～長野町間については、早期事業化を国等へ要望していく。 ・県が事業を進めている出平有明バイパス、有明瑞穂バイパス、瑞穂吾妻バイパスについては、必要な予算を確保するため引き続き国等へ要望していく。
<p>iii 西彼杵道路の整備推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大串白似田バイパスの整備を進めており、令和 6 年度は必要な予算を確保し、調査設計、用地取得を推進した。 ・調査中区間のうち長浦～日並間の約9kmについて、令和 6 年より環境影響評価の手続きを進めている。 ・西彼杵道路の供用率は令和 6 年度末時点で38%であり、残る28kmのミッシングリンクの解消が課題である。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が事業を進めている大串白似田バイパスおよび長浦～日並間の環境影響評価については、必要な予算を確保するため引き続き国等へ要望していく。
<p>iv 長崎南北幹線道路の整備推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂里町～滑石工区の整備を進めており、令和 6 年度は必要な予算を確保し、調査設計、用地取得を推進した。 ・長崎南北幹線道路の供用率は令和 6 年度末時点で47%であり、残る8kmのミッシングリンクの解消が課題である。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が事業を進めている茂里町～滑石工区については、必要な予算を確保するため引き続き国等へ要望していく。
<p>v 島原天草長島連絡道路の実現に向けた取組</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の大型公共事業の見直しなどにより平成20年に海峡横断プロジェクトが凍結され、個別の架橋プロジェクトに関する調査が中止となり、厳しい状況が続いている。こうした中、国への要望活動などを行ったが、国による調査の再開には至っていない。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査再開に向けて、引き続き、島原・天草・長島架橋建設促進協議会を通じて普及啓発活動等を実施しながら地元の機運醸成に努めるとともに、熊本・鹿児島両県、各地元期成会、関係団体など一体となって事業の必要性を国に対して強く働きかけていく。

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目ⅰ	○	1	企画調査費	—	①	令和8年度以降も必要な予算の確保や未着手区間の新規事業化に向けて、現状の問題点や課題を整理したうえで、道路整備に伴い活発になる地元の取組などを踏まえたストック効果（整備効果）などを整理した資料を作成し、引き続き国等へ要望していく。	現状維持
			—				
			道路建設課				
取組項目ⅴ	○	5	島原・天草・長島架橋構想等推進費	—	⑨	引き続き、構想推進地方大会の開催や三県サッカー大会などの地域間交流の取組を通して地元3県の機運醸成を図るとともに、国への要望活動を行い、三県架橋建設に資する調査の再開、島原道路の整備促進及び島原天草長島連絡道路の具体化に向けた検討の実施、必要な道路整備のための予算確保を強く訴えていく。	現状維持
			S63-				
			地域づくり推進課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づくための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点